

事業活動実績報告書

施設名	明昭第二幼稚園
教育理念	○子どもたち一人ひとりの個性・発見・発想を大切に生きる力の基礎となる丈夫な身体とやさしい心、人とかかわる力、たくましさ育てていく。 ○子どもたちの主体性を大切に、一人ひとりの個性、発達に応じた遊びを中心とした援助・保育をする。

事業の区分 (5領域)	健康 ・ 人間関係 ・ 環境 ・ 言葉 ・ 表現
1 事業名	子どもたちの感覚・感性、想像・創造力を育む造形活動
2 実施期間	令和 6年 6月11日 ～ 令和 7年 2月28日

3 取組概要	(取組日) 令和6年 6月11日 ～ 令和6年 6月11日 (実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること 年長5歳児造形活動 園庭で3クラス合同で実施。70分の活動。 「えのぐ遊び、園庭で思いきりラクガキしよう」 赤・青・黄・黒の絵の具を使って、混色でいろいろな色をつくり、園庭に敷いたダンボールの道や大きな箱(中に入れて描ける)に自由に楽描(ラクガキ)をする。はじめは好きなえのぐを使っていた子どもたちだが、いろいろな色を作って楽しむようになった。偶然出来上がった色を楽しんだり、この色を作ろうと考えながら色づくりをする姿が見られた。好きなところに、友だちと一緒に絵を描いたり、互いの色が混ざりあって出来上がった色に驚いたり、互いに見せ合ったりした。のびのび活動し、生き生きとした子どもたちの楽しそうな表情が印象に残った。 
	(取組日) 令和6年 6月12日 ～ 令和6年 6月12日 (実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること 年中4歳児造形活動 園庭で2クラス合同で実施。60分の活動。 「ダンボールに絵を描こう」 赤・青・黄・黒の絵の具を使って、園庭に敷いたダンボールの道や大きな箱(中に入れて描ける)に自由に描いて遊ぶ。自分用の画用紙以外のものにはじめて描く園児たち。最初は戸惑っていたが、徐々にいろいろな所に思い切り、のびのびと模様や絵を描き出した。描いた絵を見せ合ったり、一緒に描く姿も見られた。絵の具を混ぜる子もいた。偶然できた色に驚いたり、描くより色づくりに夢中になったりしている。色を混ぜすぎて黒ずんだ色になった所もある。えのぐは紙コップに水を入れて溶いてえのぐ筆を1本もって楽しんだ。細・太筆を用意した。 
	(取組日) 令和6年 7月 2日 ～ 令和6年 7月 2日 (実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること 年少3歳児造形活動 園庭で2クラス合同で実施。50分の活動 「フィンガーペインティング」(ゆびえのぐ遊び) 水着の上にスモック、裸足で活動。6グループに分かれ、クラス前のテントの下にテーブルを出し、上にビニールシートを敷き、その上に模造紙を貼る。最初は絵具を1色模造紙の上に垂らし、指で自由に伸ばし、洗濯のりが入った絵具の感触を楽しむ。次に赤・青・黄の3色の絵具で自由に遊び、模様が出来るのを楽しみ、出来たものの上に個人用の白画用紙をのせ模様を写しとる。後で、写しとったものを乾かし、展示する。活動後はホースのシャワーや水を入れたバット(ふね)で絵の具を洗い落とす。友だちと一緒にのびのびと描く。感触が苦手な子は先生と一緒にやってみた。 
	(取組日) 令和6年 7月10日 ～ 令和7年 7月10日 (実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること 年中4歳児造形活動 園庭で2クラス合同で実施。70分の活動。 「しゃぼん玉あそび」 水着、裸足で活動。 ①ストローでしゃぼん玉をつくり、飛ばして遊ぶ。 ②モール、ヤクルト、うちわ、針金ハンガーなどいろいろな素材でシャボン玉を作って遊ぶ。使うものによりシャボン玉の大きさやたくさんできるなど違いを楽しむ。大きな針金でシャボン玉の中に入ることにも挑戦、誰が一番大きい？高く飛んだ？たくさんできた？など比べっこをしたり、競争したりして、みんなで楽しむ。 水着にベトベトついたシャボン液はホースを使い、水で洗い落とす。 水着を着ての活動のため、写真掲載不可。

3 取組概要	(取組日) 令和6年 8月23日 ～ 令和6年 8月23日 (実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること 年少3歳児から年長5歳児までの造形活動。70分～80分の活動。 夏期保育の放課後2時から実施。参加希望の親子25組が参加。 「大好きなキャラクターに大変身だ!!」板ダンボールの上に子どもがアイドルやサッカー選手、キャラクターになりきってポーズをとって寝転がり、親が鉛筆で型どりし、切り抜く。そこにマイクやボールなどの小道具、洋服などを描き、えのぐやマーカーなどで彩色し立たせる。親子や兄弟・姉妹で絵を描いて楽しむ。園児の力ではできない所を親が行う。出来上がった後は4～5枚つなげ、つくったものを全員で鑑賞し、記念撮影する。 
	(取組日) 令和6年 8月26日 ～ 令和6年 8月26日 (実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること 年少3歳児から年長5歳児までの造形活動。70分～80分の活動。 夏期保育の放課後2時から実施。参加希望の親子25組が参加。 「不思議な空気砲をつくって遊ぼう!!」 500mlのペットボトルと風船、トイレットペーパーの芯で空気砲(銃)を親子でつくって遊ぶ。参加者がペットボトルを持参する。 ペットボトルの底をカッターで切り取り、風船を被せ縁をビニールテープでとめる。持ち手の部分となるトイレットペーパーの芯をペットボトルの側面にテープで装着する。ペットボトルは、キラキラシールを貼ったり、マーカーで絵を描いたりして装飾。フタをとり、持ち手を握って風船部分を引っ張ると空気が発射。紙で的をつくりの当てを楽しむ。 
	(取組日) 令和6年 8月26日 ～ 令和6年 8月26日 (実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること 年長5歳児造形活動 ホールで3クラス合同で実施。70分の活動。 「紙コップタワーであそぼう!!」1人30個の紙コップを用意し、どれくらい高く積みめるか高さを競争をしたりいろいろな積み方を楽しむ。5、6人のグループでみんなの紙コップを使って積み上げて、タワーづくりをする。塔やお城のようにしたり、家になしたり、お風呂に見立てて中に入ったり、それぞれグループで楽しんだ後、出来上がったものをみんなで鑑賞。鑑賞後に各グループで作ったものを紙コップでつなげていく。 最後はみんなで紙コップを片付けながら床に置き、ヘビのように長く重ねていきながら、サークルをつくり、その中に子どもたち全員が入る。みんなで遊び、体験を共有するダイナミックな全体活動。 
	(取組日) 令和6年 9月12日 ～ 令和6年 9月12日 (実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること 年少3歳児造形活動 各クラスで実施。50分の活動。 「新聞紙ビリビリ!! 新聞紙であそぼう」 新聞紙を体全体でビリビリ破ったり、丸めたりしながら、音や感触を楽しむ。何かに見立てたり、想像して作ったり、五感をくすぐり体の動きを促し、想像・創造力を養う。ダンボールを細く切りつなげた枠を床に置いて広げ、新聞紙を入れ、お風呂やプールにして中で泳いだり、新聞紙に埋もれて遊ぶ。講師や保育者がダンボール箱を抱えて動きまわり、追いかけながら箱の中に新聞を丸めた玉を入れて遊ぶ。感覚や気持ちを共有し、みんなで遊ぶ楽しさを味わう。新聞紙で洋服を作る、新聞紙のふとんをかけて寝るなど、いろいろな姿が見られた。 
	(取組日) 令和6年10月24日 ～ 令和6年10月24日 (実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること 年中4歳児造形活動 各クラスで実施。70分の活動。 「ふわふわ紙粘土で楽しい花瓶をつくろう!!」 紙粘土の感触を楽しんだ後に、まるめて小さいお団子をつくり中に赤・青・黄色の絵の具を入れて練り込み色をつける。赤・青・黄色を混ぜて色をつくったり、練り方によってできる模様をつくり、花瓶の芯を粘土で覆う。側面にくぼみをあけ、ビー玉やビーズ、木切れなどををはめ込み、ボンドで接着し、飾りつける。いろいろな装飾素材を入れたトレーを廊下に置き、子どもたちは好きな素材を選び、個性豊かに自分の花瓶をつくる。出来上がった後は、みんなでつくった花瓶を鑑賞する。花瓶の中に後日、保育者とつくったモールの花を飾る。 
	(取組日) 令和6年11月 8日 ～ 令和6年11月 8日 (実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること 年少3歳児造形活動 各クラスで実施。50分の活動。 「ビー玉コロコロ お絵かきあそび」 少し深さのあるアルミトレーの上に画用紙をしき、3～4個のビー玉をえのぐの入った紙コップに浸して取り出し、画用紙の上に置いて転がす。トレーのふちを持ってビー玉が落ちないように画用紙の上を転がしていく。ビー玉が転がった後にできるいろいろな線と模様を楽しむ。 4人がけのテーブルで6グループで活動、出来たものを乾かして部屋に飾り、みんなで鑑賞する。 

3 取組概要	(取組日) 令和6年11月 8日 ～ 令和6年11月 8日 (実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること 満3歳児造形活動 クラスで実施。40分の活動。 「紙皿でお魚さんつくろう」 11月在籍の17名でつくる。 紙皿を1枚ずつ配り、子どもに尋ねながら作業を進めていく。紙皿の一部を三角に切り落とし、「これなあんだ」と尋ね、何に見えるか見立て遊びをした後で、講師がつくった魚を見せ、作り方を説明。くぼみが口に、切り落としたものをしっぽにして紙皿に貼る。紙皿を切るときは講師や保育者3名が手伝う。魚の目は丸シールで、魚の模様もいろいろな色シールを選び、紙皿に自由に貼り付ける。出来上がった魚を互いに見せ合い、作った魚を持ち、講師を先頭にみんなでクラスの中を泳ぎまわり、魚になりきって楽しむ。活動後は魚をクラスに飾る。 
	(取組日) 令和6年11月19日 ～ 令和6年11月19日 (実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること 年長5歳児造形活動 2階ホール・クラスで実施。80分の活動 「作品展に向けての共同製作の仕上げと展示物・装飾づくり」 10月24日の年中造形の際に11月22日の作品展に向けて共同製作のテーマを はなしあい、制作イメージや作るものを計画し、「となりのトトロの世界とおぼけ」を テーマに制作担当グループ決めを行う。11月8日の年少造形の際に講師が制作 経過を見て、講師からアドバイスやヒントをもらいグループごとに活動をすすめてい く。年長造形活動当日は完成し、ホールに飾ってある作品の表示や展示物、展示 物を際立たせる草などの森の雰囲気やバスの停留所などをグループごとに作成。 全体展示を見て、みんなで話し合い必要なものをつくる。 
	(取組日) 令和7年 1月10日 ～ 令和7年 1月10日 (実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること 年長5歳児造形活動 各クラスで実施。60分の活動 「ストロンボをつくってあそぼう!!」 牛乳パックを細く切り翼にし、ストローを軸にした紙製の竹とんぼ(ストロンボ)を作 成。翼となる部分を同じ大きさに2枚作り重ねて合わせ竹とんぼのようにつくり、ス トローの軸にビニールテープを巻いてつくる。翼の両端を折り曲げる。翼を曲げる 方向や角度により飛び方が異なるのを楽しむ。竹とんぼのように飛ばして遊び。飛 ばすコツを何度も試しながらつかんでいく。慣れてくると高く上がるストロンボに大 興奮。園庭でのびのび飛ばして遊ぶ。翼の曲げ方や角度を調整したりしながら、 作ったもので遊ぶ楽しさを存分に味わう。 
	(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること 年中4歳児造形活動 各クラスで実施。60分の活動。 「紙皿コマをつくってあそぼう!!」 紙皿を配布し、コマをつくることを伝え、講師がつくったものを見せる。紙皿にマー カーでいろいろな色で模様を描く。回るとどのような模様になるか考えたり、偶然に できた模様を楽しんだりする。キラキラ光るシールも貼る。ペットボトルのフタを紙皿 の中心に接着する。竹串の芯棒を接着し、講師と保育者がチェックして、完成。 つまみを持って回してあそぶ。速度をかせて、力の入れ具合を考えながら回し、誰 のコマが一番長く回るか競争する。 
	(取組日) 令和7年 2月28日 ～ 令和7年 2月28日 (実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること 年少3歳児造形活動 各クラスで実施。50分の活動。 ボイスチェンジャーをつくらう 紙コップとアルミホイルを使って声が変わるボイスチェンジャーを作る。底が空いた 紙コップにアルミホイルをボンドや両面テープで接着し、マスキングテープで縁取 る。コップの底の方を口にあててしゃべると声が変わる。自分の声や友だちの声が 変わるの様子を楽しむ。「ワレワレは宇宙人だ」と言いながら宇宙人になりきってあそ ぶ。声を楽しんだ後に紙コップの白い部分にマーカーでボイスチェンジャーの声を イメージした絵を自由に描く。 
	(取組日) 令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日 (実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること 写真添付 (区HPで公開が可能な写真を添付してください) 活動内容が分かるもの 取組に関するもの

効果検証報告書

施設名	明昭第二幼稚園		
教育理念	○一人ひとりの個性・発見・発想を大切に生きる力の基礎となる丈夫な身体とやさしい心、人と関わる力、たくましさ育てる。○遊びを中心に子どもの主体性を大切に一人ひとりの個性、発達の姿に応じた援助・保育をする。		
事業の区分(5領域)	健康・人間関係・環境・言葉・表現		
1 事業名	子どもたちの感覚・感性、想像・創造力を育む造形活動		
2 事業概要	松枝秀晴講師による造形遊び。40～70分、クラスや学年ごとに活動する、自由遊びの時間や午後に園庭で造形遊びを続けたり、後日、保育者が活動の続きをしたり、発展させたりする。夏期のワークショップは、希望者が親子参加し、学年を越えて活動。親子や参加者同士の交流をする。のびのびと思い切り、自由な発想でダイナミックな造形活動を行う。 年間、5歳児4回、4歳児4回、3歳児4回、満3歳児1回、ワークショップ2回の活動をする。		
計画時	3 実施体制	取組に必要な環境(人員、事業の遂行に必要な技能やノウハウ等)の保有状況 造形講師の松枝秀晴氏の他、クラス担任2名、5歳児は1名と職員室教諭1名で主に活動、必要に応じ、有資格の保育助手2名が活動に携わる。活動によりクラスごと、学年ごとに実施する。実施場所はクラスや2階ホール、園庭。午後は自由遊びの時間に空き教室を開放し、自由に活動できるようにし、講師の松枝秀晴氏や職員室の教員などが見守る。夏期のワークショップは講師の松枝秀晴氏の他3名の保育者が活動に入る。活動に必要な材料・素材・道具類は都度、準備する。	
	事業後 3についての効果・検証	事業実績から推測される効果や改善点等 活動時は十分な人員体制で、一人ひとりの活動や思いにそった援助ができた。イメージを広げたり、担任だけではできないダイナミックな活動体験をすることで園児の興味や関心を深めることができた。保育者が一緒に活動し、共に喜んだり、驚いたり体験を共有することで子どもたちの発見、感性を間近に感じ磨くことが出来た。素材に触れ、五感で感じ、のびのび活動することの重要性を体感し、学んだ。保育者の見守り、働きかけで個々の発想やセンスが発揮され、ダイナミックな活動により子どもたち同士の関係が深まった。造形活動の続きをしたり、刺激を受け保育活動を発展させることができた。次年度は活動発展の時間や場所を十分に確保したい。	
計画時	4 事業のねらい	・いろいろな素材とかかわり、描く、作るなど表現する楽しさを味わう。 ・素材に触れ、のびのび活動することで豊かな感性や想像・創造力を育てる。 ・創意工夫を凝らし、作ったもので遊ぶ楽しさを味わう。 ・みんなで協力して描く、作るなどして言葉による伝え合い、表現による意思疎通により共感性や協同性を高める。 ・4歳児に経験したえのぐあそびを5歳児でも実施し、経験の積み重ねにより年齢発達に応じた活動を展開する。これまで経験したことを活かし、子どもたちの発見や創意工夫を生み出す。(より豊かな造形活動をする。)	
	事業後 4についての効果・検証	事業実績から推測される効果や改善点等 ・紙粘土、新聞紙、紙皿、紙コップ、ダンボールや牛乳パック・お菓子箱、シャボン液など様々な身近な素材に触れることで感性が開かれ、感覚が養われ、豊かな表現力が培われた。 ・集団でダイナミックに活動する中で自分で考え工夫したり、友だちのアイデアを参考にしたり、イメージを伝え合いながら描く・作る姿があり、協同性が発揮されていた。個々の製作物にも個性があり、イメージを表現する意欲が育つ。 ・園庭でののびのび活動し、新たな発想が生まれるなど豊かな感性と想像・創造力が育った。 ・フィンガーペインティング、4歳児、5歳児のえのぐ体験と年齢にあった経験ができた。	

5 取組の内容	計画スケジュールを含む詳細な取組内容、経験させたい内容等 年齢ごとに実施した造形活動の実施日と内容は報告書の通り。 ・感覚や感触を楽しむダイナミックな造形遊びを園庭と2階ホールで実施。 例) 園庭ーフィンガーペインティング、えのぐあそび、シャボン玉あそび。ホールー紙コップタワー。 ・協力して作り上げる活動 例) 紙コップタワー、年長児の作品展共同製作。 ・作ったものであそぶ活動 例) スロー、紙皿、ホイステンジャー。 ・素材に触れ感覚を楽しみ描く、作る活動 例) 新聞紙、紙粘土・皿・コップ、指えのぐ。 ・経験を積み重ねる活動 3歳児フィンガーペインティング、4・5歳児えのぐあそび ・親子、参加者の共同製作 造形ワークショップ 例) キャラクターに変身しよう、空気砲づくり。 ○一人ひとりの個性や違いに目を向けながら、のびのび活動する。 ○クラス単体では味わうことのできないダイナミックな活動や共同作品づくりをする。
事業後	5についての効果・検証 事業実績から推測される効果や改善点等 ・身近な素材を使い、園庭でのびのび遊ぶダイナミックな活動により、みんなで遊ぶ楽しさを味わい。他児に刺激を受け、発想が広がり、工夫を凝らし遊びを作り出す想像・想像力が育った。 ・感覚や感触を楽しみながら、装飾をするためのいろいろな素材を用意することで、一人ひとりの感性が刺激され、個々の表現に活かされた。個性豊かな作品が出来上がった。 ・5歳児はグループ制作や諸活動で協同性が発揮され、互いの考えを尊重し、活かす調整力も育まれ、つながりが深まった。親子参加の共同製作ワークショップでは園児だけでは経験できない製作活動ができ、異年齢の交流も生まれた。

計画時	6 環境構成	・ダンボール、紙コップ、廃材、紙粘土、えのぐ、シャボン液、ストロー、シールなどの活動に応じた素材、材料、画材を用意する。 ・ハサミ、ダンボールカッター、ガムテープ、接着剤などの道具類を使用する。 ・クラス、園庭、2階ホールを使用する。 (空き教室の旧すみれぐみも利用する予定。)
	事業後	6についての効果・検証 事業実績から推測される効果や改善点等 新聞紙、ダンボール集めに苦労した、家庭や新聞店、スーパーなどに協力をいただき、地域とのつながりもできた。えのぐはペットボトルに各色を入れ、紙コップに出して使いやすいように工夫した。年齢に応じて満3歳児はシールを使い装飾と接着を、3歳児からは綿棒の先にボンドをつけて素材を貼るなどした。活動しやすいように年齢に応じて講師が素材を準備した。いろいろなシャボン玉ができるようにストロー、ヤクルト、ネットを使う。紙コップの底を切るなどし準備を整えた。活動に合わせ環境を考え活動する。3学期はストロンボ、紙皿コマ、ホイステンジャーなど遊びに重点を置き、競争したり、試したり、より楽しく遊ぶ工夫が生まれ、活動が広がった。

7 期待される効果 児童の姿	取組を通じて期待される児童の姿や効果等 ・主体的にいろいろな素材などの環境にかかわり、のびのび活動することで、個性や想像力、自由な表現力が発揮される。 ・色や形、素材に興味を持ち、想像・創造力を発揮し、いろいろなものを作り出す意欲が育まれる。 ・作ったもので遊ぶ楽しさを知り、いろいろなものを作る意欲や遊び方を試す工夫(シャボン玉やストロンボの飛ばし方など)が見られた。 ・友だちと協力し、協同性を発揮し、最後までやりとげようとする力を育み、一つのものを作り上げる満足感を味わう。(紙コップタワーが崩れても再挑戦し、積み上げていくなど) ・造形ワークショップに3～5歳児が親子参加することで異年齢・親子のコミュニケーションが深まり、イメージを共有し協力してものを作る楽しさを味わう。 ・造形の時間以外でも遊びが展開され、他学年の製作物を見て、意欲が高まり、作るなどする。
事業後	7についての効果・検証 事業実績から推測される効果や改善点等 ・興味や関心、活動意欲が高まる講師の導入、目の前に広げられた様々な素材や道具などの環境により主体性が発揮された。園庭やホールでダイナミックな活動をのびのび行うことで自由に表現する力は育った。個人製作においても年齢にあった素材や方法を取り、一人ひとりのイメージで装飾したりするなど個性が発揮できる活動と援助がなされていた。作ったもので表現したり、遊んだり、遊びの中での工夫があったりと表現力や想像・想像力が育った。例)魚になりきり製作物を持ち泳ぐ。シャボン玉、ストロンボ飛ばし。 次年度は学年内だけでなく他学年が作ったものに興味を持ち作ってみるなど、活動が広がるようにしたい。 ・学年活動や協同製作ではイメージを共有し合い、協同性を発揮し、満足感を味わう姿が見られた。造形ワークショップでは親の援助、異年齢交流によりイメージや体験が広がった。
8 効果検証 総括	事業を通しての感想、今後の教育・保育に向けて ・クラスでは味わえないダイナミックな学年合同活動では子どもたちがのびのびあそぶ姿、子ども同士刺激を受けたり、つながって遊びが発展する姿が見られた。楽しさ、充実感とともに発想力・想像・創造力、経験が広がった。 ・感触を楽しみ五感を刺激する紙粘土、新聞紙、フィンガーペインティング・のりえのぐ、ビーズ、シール、枝などの様々な装飾素材は、子どもたちの感覚・感性を刺激し、個性的で豊かな表現を生み出した。 ・活動のつながり、経験の積み重ねの大切さを感じた。3歳児フィンガーペインティングでえのぐに親しむ。4歳児えのぐでのびのび描く、5歳児えのぐで色を作り出し表現するなど年齢によって経験する内容が異なり、それぞれの経験がつながっていった。イメージを伝え合う3、4歳児の学年活動も5歳児の協同性を発揮する共同製作につながった。 ・一緒に活動する保育者の働きかけや体験の共有も活動の発展や子どもたちの育ちに関連することを実感し、共に活動を楽しむ保育者の重要性を感じた。 ・ワークショップは親のサポートや異年齢交流により園児の経験を広げることができた。作ったものを繋げてみんなで見たり、的当てゲームをするなどし、参加者同士の交流も深まった。今後は作ったものを飾ったり、つくり方を知らせるなどして参加できなかった親子にも造形活動の楽しさを伝えて行きたい。 ・造形あそびの時間以外にも造形活動を保育活動に広げていく時間と場所の確保が次年度の課題である。活動を生む刺激や環境を考えていきたい。